

家族合同面接

現在、心理的支援は一般的に個人面接を中心として行われており、一定の効果を上げています。

一方、昨今の臨床現場では、親子が一緒に来談したり、家族が面接場面に突然現れたり、葛藤解決のために夫婦二人での来談希望があったりなど、予期せぬ形で夫婦や親子の合同面接の機会が増えていると言われています。

このような場合、支援者側が葛藤に巻き込まれてしまい、支援の方向性を見失うことがしばしば生じます。例えば、「あちらにつけば、こちらが立たず」など面接場面で右往左往する、あるいは、解決をゆだねられているような気がして支援者自身が悩んでしまうなどがあげられます。複数の相談者がいる合同面接では、個人療法に求められる技術とは異なる技術が求められると考えられます。

この研修会では、前半は、家族療法の理論的枠組みと家族療法における基本的介入方法（ジョイニング、多方向への肩入れ、リフレーミング、ジェノグラムなど）をご紹介します。後半では、実習を通じて、それぞれの介入方法を実践していただき、技術的な学びを深める予定です。

不登校、ひきこもりなどの家族問題や葛藤を抱えた夫婦に関わる支援を行っている方、保護者対応が求められる教育関係で支援を行っている方など、家族合同面接を行う可能性がある方のご参加をお待ちしています。

記

講師：：北島歩美（日本女子大学カウンセリングセンター）
大町知久（北里大学健康管理センター学生相談室）

日時：2025年3月16日（日曜日）10:00～16:00（昼食休憩1時間程度）

場所：全国家電会館（1階A（大会議室）（〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目6番1号 最寄り駅：湯島駅）<https://www.ieass.or.jp/>

定員：50名（対面による講義と実習、録画視聴なし）

内容：（1）家族療法における基本的介入に関する理論の紹介
（2）実習：多方向への肩入れ、ジョイニング、リフレーミング、エンパワメントなど

申込期間：2025年1月16日（木）0:00～2025年3月10日（月）23:55 締め切り

参加区分と参加費：

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円
- ④ 別途資料代：500円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。